

活動状況報告書

事業者(氏名)	山本博文
所属機関・職名	株式会社坂ノ途中 海ノ向こうコーヒー

活動題目	インドネシア環境保護区クリンチ山のごみをコーヒー豆に変える運動 ～IKGIPACKプロジェクト～、それに伴う周辺住民のごみ銀行推進と環境教育
------	--

今期の活動内容と成果	IKGIPACK活動（ごみ拾い活動）や、Gotong Royong(ゴミ拾い活動)、植林活動は、子ども会や婦人会などコミュニティグループ参加のもと実施した。参加者からは、「この活動がコミュニティの環境意識を高め、環境保全の重要性を考えるきっかけとなっている。」といった声が上がった。また、現地でプラスチックごみをリメイクしている婦人会において、環境教育ワークショップを実施した。参加者からは、日本の廃棄物処理やりサイクル方法について質問があがった。生産者向け技術研修に関しては、コーヒーの品質管理方法や、欧州や日本で求められている品質、日本におけるインドネシアコーヒーの位置づけ、品質向上のために必要な視点などについて研修を行った。廃棄物処理施設の活動については、パイロットファームにコンポスト場を設置した。また有機肥料を使用した施肥に関する研修も行った。1年次に予定していた活動を全て実施した。
------------	--

植林活動



ゴミ拾い活動



活動地域	インドネシア
主な活動内容	環境保全農業・生業促進

報告年度	1年目	(2024年4月～2025年3月)	
今期助成額	100万円	今期達成度	90%

計画に影響した内容	共同事業者
今期成果指標	1500本の植林活動
今期成果指標	累計1847名による清掃活動実施

来期の目標・展開
2025年度は、Gotong Royong（ごみ拾い）運動と植樹活動について活動地域を拡大して実施する。実施日は各1日で、3つの地域それぞれで実施する。また、廃棄物処理施設に関しては、パイロットファームとして取り入れた有機廃棄物処理設備をモデルケースとして、有機廃棄物の活用方法や液肥の圃場への散布方法について地域住民及びコーヒー農家に対して研修を行う。 2年目も引き続き観光客や地元住民に対する環境教育を行う。無機廃棄物の処理に関しても、3年次における油化装置（ペロリシス）の導入の可能性と設置場所の選定、運用方法の検討を行う予定である。 生産者向け技術研修では、引き続き環境負荷の低い農法や剪定方法、輸出産品として求められるコーヒーの品質についてをコーヒー農家向けに行う予定である。